

文学的な文章を読むためのワークシート（例）

解答例&てびき

登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、**叙述を基に想像して読んでいるかを読み取る力を身に付ける。**

○平成二十九年年度調査問題の問二の文章（「動物園ものがたり」山田由香）を読み、あとの課題について取り組んでみましょう。

※調査実施校以外の学校の皆さんは、学校に一部送られている調査問題を先生に印刷してもらい、使用してください。

一 ぼく(井上くん)がロッカーで、小林さんに声をかけられたときの気持ちに一番近いものを、次の①～④の中から選び の中に書きましょう。

《考えるヒント》

○ぼく(井上くん)は、カバの赤ちゃんをモモと名付けた。そのモモがよその動物園に行くことが決まっていたときの気持ちを想像し、考えてみましょう。

- ① 掃除を終えて、気持ちがすっきりしている。
- ② ウメ(モモのお母さん)とすごすことに、ワクワクしている。
- ③ モモがよその動物園に行くので、楽しみにしている。
- ④ モモがよその動物園に行くので、不安になっている。

④



《てびき》

名前をつけて今まで世話をしてきたモモ(カバの赤ちゃん)が、よその動物園に行くことになった背景から、ぼく(井上くん)の気持ちについて考えてみよう！

二 ちっちゃいウメをみて「こわかったよ」といった先ばいの小林さんの話を聞いた、ぼく(井上くん)の気持ちに一番近いものを、次の①〜④の中から選えらび、
□の中に書きましょう。

《考えるヒント》

○ここまでや、この後の会話や地の文からも、ぼく(井上くん)の気持ちを想像する手がかりを考えましょう。

- ① 小林さんは、こわがりな先ばいだなと思う気持ち。
- ② よその動物園に行くモモのことは、忘れようと思う気持ち。
- ③ いつもの小林さんところがったようすから、おどろいている気持ち。
- ④ ウメといっしょにすごすことがうれしくて仕方ない気持ち。

③



《つひき》

地の文にある「信じられない。」「や」「小林さんは、いつもここにしているし、ぼくが聞いたことには、なんでも答えてくれる。」「といった文から、ぼく(井上くん)の気持ちを考えてみよう！

三 ぼく(井上くん)が「ぼく、もどります。」を音読するとき、あなたなら声の大ききさや読む速きさなどの読み方をどのように工夫しますか。あなたの考えを書きましよう。

《考えるヒント》

○ここまでの会話や地の文から、ぼく(井上くん)がどんな気持ちになっっているのかを考えてみましょう。

(ご)のよりに読むか)

わたしは、

「もどります。」のところが、とくに強く、はっきりとした声で

読みます。



《てびき》

とくに思いをこめているところは、どこかを考えてみるのが大切だよ。

実際に、声に出して読んでみるのもいいね！

四 このお話のはじめと終わりで、ぼく(井上くん)の気持ちが変わっていることを読み取り、次の四角にまとめましょう。

《考えるヒント》

○はじめと、終わりの様子を読み取り、ぼく(井上くん)がどんな気持ちになっっているのか、それぞれに考えてみましょう。

○(はじめ)ロッカーで作業着に着替えているときのぼく(井上くん)の気持ち

モモがよそに行ってしまうことを知ってさびしい。

モモのことが心配だ。

○(終わり)先ばいの小林さんの話を聞き終えたときのぼく(井上くん)の気持ち

モモはだいじょうぶだ。

ウメのことを、もっともっと大切にしよう。

《てびき》

モモ(カバの赤ちゃん)のことを、どう思っていたのかを中心に、ぼくの気持ちが変わったことを考えてみよう。

さらにウメ(モモのお母さん)のことにも考えてみるのもいいね！



五 お話のあとで、ぼく(井上くん)は、カバ舎にもどり、どんな気持ちや様子で、すごしたと思いますか。あなたの考えを書きましよう。

《考えるヒント》

○ここまでの会話や地の文から、ぼく(井上くん)の気持ちや様子が、どのように変化したのかを想像して考えてみましょう。

(気持ち)

モモのことも大切に、ウメのことも、もつともつと大切にしよう。

(様子)

今までよりも、もつとていねいに世話をした。
ウメとなかよく、幸せにすごした。



《てびき》

「そうだ。ウメはだいじょうぶだ」の地の文から最後まで読んで、ぼく(井上くん)の気持ちや様子を考えてみよう！